

2005年9月15日

ユニセフ*コープ ネットワーク

ほむ・ほむ通信

No.29

2005年ユニセフリーダー研修・交流会が開催されました

8月23日から26日にかけて、東西2会場に分かれて、ユニセフリーダー研修交流会が開催され、全国から27生協・3ユニセフ地域支部73人の組

合員・役職員が参加し、UNICEFの支援活動などを学習し、生協や地域での協力活動についてワークショップなどを通して考えあいました。

	日 程	会 場	参 加 者
東日本	8月23日(火)～24日(水)	ユニセフハウス(品川)	15生協・1支部 28名
西日本	8月25日(木)～26日(金)	コープイン京都(京都)	12生協・2支部 45名

(1日目)

アイスブレイク、日本生協連と日本ユニセフ協会からの報告に続き、活動報告として東日本では、みやぎ生協とコープかながわから、そして西日本では、めいきん生協とコープぎふからそれぞれの生協で進めているユニセフ活動について報告していただきました。その後、テーブルを囲んでグループごとにそれぞれの実践について交流をおこないました(その様子については、次ページをご覧ください)。

ユニセフ現地報告では、日本ユニセフ協会の早水研事務局長より、この4月に訪問したスーダン・ダルフール地方の人道危機についてお話をいただきました。



(2日目)

日本生協連と日本ユニセフ協会からの報告として、日本生協連からは、援助の基本的な考え方や国連のミレニアム開発目標などについて、ユニセフ協会からは UNICEF の基本的な仕組み及び体系などについてお話しがありました。

この後、ベーシックコースとアドバンスコースに分かれ、ワークショップ「夏休み親子学習企画づくり」を行いました。実際にユニセフ活動に関する企画作りについて、様々なアイデアを出して考え合いました。アドバンスコースでは、岩手県学校生協(東日本)・おかやまコープ(西日本)の事例報告もいただきながら、グループごとにプログラム作りもおこないました。

午後からは、両コース共通で、ワークショップ「よ

り効果的なユニセフ活動に向けて」を行い、より効果的にユニセフ活動を進めていくために、特に無店舗(共同購入・個配)に焦点をあてて、ユニセフ募金をどのように広げていくのかをテーマとして、課題を明らかにしながら、今後の方向性を考え合いました。

話し合いの中からは、「より効果的な組合員へのお知らせの仕方」、「より効果的な募金の仕組み」というテーマが導き出されました。これに基づき、様々なアイデアが出され、実現可能性の有無はあるものの、ユニセフ協会や日本生協連、各生協そして、組合員活動などがそれぞれ取り組むべき課題が明らかになりました。

短い時間を有効に使うと、さっそくお話が始まりました。「成功したユニセフ協力活動について」「自分の知りたいこと」などを中心に、活動報告、意見交換が行われました。その様子をご紹介します。

成功したユニセフ活動は…



ハンドインハンドの時、地元の小、中学校にも、一緒にやりませんか、よびかけました。生徒会として取り組んでくれた学校もあり、子どもたちや地域の人と一緒に募金活動ができました。

夏休みだったせいか、“穴ぐら探検”ということで、軍事工場にだった場所を見た後、スタッフが作ったすいとんを食べるというイベントには100人近い参加があったわ。

やっぱり夏休みの宿題の手助けになるのか、ユニセフハウスの見学会には予想以上の50人程の参加がありましたね。

スタディツアーに参加した人の報告会を開催しました。現地への理解が深まったみたいで、指定募金が増えましたよ。

30周年の記念事業でアグネス・チャンさんが来てくれた時は500人程来てくれてうれしかった。募金だけではなく、遊び心もある方が受け入れやすいのかな。

みんなからアドバイスをもらいました！

ユニセフの県支部の活動が盛んです。その中で、生協のユニセフ活動をどのように展開していくか、模索中です。

おしゃべりの中にヒントがありました。

- ・ 私達の地域の県支部も歴史もあり、大きなイベントもたくさん開催しています。生協としては、ユニセフ活動を身近なものとして感じてもらえるように、イベント会場の一角で、募金箱を設置して説明するなど、草の根的な取り組みを行っています。一人ひとりがわかりやすい言葉でユニセフ活動が説明できるように、勉強して伝えるようにしています。
- ・ 県支部で活動している人は、知識もあって、バリバリ活動する人が多いですが、誰でも気軽に参加できるという良さもあると思います。私自身はあまりユニセフの知識がないですが、役立てることに感謝しながら活動を始めました。

県支部設立に協力するためユニセフ会員を増やしたい。会員になってもらうために、どういう形でアピールしたらいい？

みんなからは…

- ・ やっぱりイベントをすると集まりやすいですね。
- ・ うちが学校にアピールすることで、若い人達を巻き込んでいきたいと思っています。
- ・ 支部になっても協力してくれる企業の社員の方達にも広げていけるように努力しています。

募金についてのエトセトラ

お買い物袋を有料化して、代金の一部をユニセフに募金しています。

注文電卓やOCRでの電卓募金で、ユニセフ募金に取り組んでいます。

店舗の募金箱を新しくすることになりました。せっかくだから目立つものを、と思ったら、あまり大きすぎても場所をとって困るといわれ、ちょっと悩んでいます。



おじゃまして…

「交通費以外は手弁当に近いんだけど、みなさん活動費はどうしている？」という質問も登場。情報交換に花が咲きました。大学生協から参加されている方や学生さんもいて、「もっとお話が聞きたかった！」「時間が足りない！」というのがみなさんからの感想でした。

(尾澤結花、松本真弓)

ユニセフ現地報告

スーダン・ダルフルの緊急事態

今年のリーダー研修・交流会の現地報告は、この4月にスーダン・ダルフルを視察した日本ユニセフ協会事務局長の早水さんでした。現地の極めて厳しい状況が一人でも多くの人に伝わることを願わずにいられません。



アフリカ北東部の最広大国スーダンは、1959年の独立以来紛争が50年間も続いている国です。しかし、北部のイスラム教・アラブ系遊牧民と南部のキリスト教や土着宗教を信仰するアフリカ系農民の間の争いは、両者の歩み寄りによってようやく今年の1月に南北和平合意を結ぶまでに至り、スーダンは今まさに国として再構築の段階に立っています。

ところが、このプロセスから完全に取り残されてしまっている地域がこの国にはあります。スーダン西部のダルフル地方です。この地域では政府軍と反政府勢力による争いが今なお続き、2003年に反政府勢力が政府施設を襲撃したのを皮切りに、政府の支援を受けていると思われるジャンジャウィードとよばれる武装集団によって一般市民が暮らす街や村への一斉襲撃が繰り返されています。これまでの間で死者は18-30万人、避難民は世界で最も多い200万人にまでのぼり、スマトラ島沖地震よりも被害は大きくなっています。にも関わらず、メディアによってなかなか取り上げられないために世界からの関心が低く、一刻も早い支援が必要です。

ダルフル内のキャスという地域には元々1万5千人が住んでいましたが、ジャンジャウィードの被害から逃げてきた5万5千人の避難民が流入し、急遽避難民キャンプが設置されました。ここにきたアダムという4歳の男の子の家族は、もともと豊かな農民として暮らしていましたが、ある日村がジャンジャウィードに襲われました。アダムは顔の後ろからあごにかけて銃弾を受け全治9ヶ月の重傷を負い、弟は殺されてしまったそうです。キャンプには早朝

にジャンジャウィードによるレイプの被害を受けた女性も数多くいました。

キャスに程近いキドニールという村は、中学校や市場なども揃ったスーダンの中でも大きな村でしたが、ジャンジャウィードの被害をうけて完全に破壊されてしまいました。村は合わせて4回も襲撃を受け、逃げ遅れた約1000名が殺されたと言われています。村の小学校の壁には銃弾や血の跡が残されていて、子どもも含めて村人達が集団射撃を受けた様子を生々しく語っています。

ユニセフはダルフルの各地で急遽設置されたキャンプの中で、水と衛生、保健、教育などの支援を担当して避難民の人々への支援を行っています。しかし、人口超過の状態のキャンプ内は深刻な水不足の状態に陥っていて、ポリバケツ一杯の水を手に入れるために2日かけて待たなくてはならないほどです。女性に対しての職業訓練では、スーダンの民芸品を作って小額の現金収入を得られるようになっていて、ここはレイプ被害者の心理的リハビリセンターとしての性格も兼ねられています。

このようにユニセフは他の国際機関やNGOとも協力して緊急援助を行っています。ダルフルは依然治安状況が不安定で、資金も不足している状況です。現状を少しでも改善するには何よりもこの地域に世界の関心が向けられることが重要であり、そのためにもまずはメディアがきちんと情報を伝えていくことが必要不可欠となっています。

(日本ユニセフ協会 インターン 田中千春)

スーダン・ダルフル緊急募金のお願い

郵便振替：00110-5-79500

(通信欄に「スーダン」と明記して下さい)

口座名義：財団法人日本ユニセフ協会



今年は企画してみませんか！

ユニセフ ハンド・イン・ハンド

ハンド・イン・ハンドは、「手に手をとって」世界の子どもたちの幸せと明るい未来を実現させるために、市民一人一人がボランティアとして参加するユニセフ募金活動です。毎年たくさんのボランティアが学校や職場そして街頭でこのハンド・イン・ハンドに参加しています。日本ユニセフ協会では、毎年12月23日を全国一斉活動日として、皆様の参加を呼びかけています。また、12月*をユニセフハンド・イン・ハンド月間としていますので、都合の良い日をお選びいただき、是非ご協力を宜しくお願いします。*12月の実施が難しい場合は11月や1月上旬などでも構いません。



コープぎふ サンタに扮して

実施までの流れ (12月に実施を予定する場合の目安)

① 実行委員会を作る[9月頃]

ご近所の組合員同士、または生協の職員を通じて声をかけあい、実行委員になってくれるメンバーを集めましょう。

② 計画を立てる[9月～11月]

いつ、どこで、だれと、どんなふう to 実施するかを考えましょう

③ 日本ユニセフ協会に参加登録をする[10～11月]

日本ユニセフ協会に参加申込書を送り、登録しましょう。申込の手続きは日本ユニセフ協会 HP に10月以降案内します。またご連絡いただければ申込書を郵送・FAXでお送りいたします。折り返し「活動の手引き」、ポスター、チラシ、専用振込用紙などの募金活動資材をお送りいたします。

④ 実施場所との交渉を始める[11月頃までに]

公道、商店街、デパートなど人通りの多い場所を選び、募金活動の許可をとりましょう。

○公道の場合：最寄の警察署に実施日10日前までに道路使用許可申請書を提出します。

許可申請は有料となりますので、各自でご負担をお願いします。

○店舗・商店街などの場合：敷地の管理者・保有者と交渉し、了承を得てください。

○駅の場合：駅の敷地内で行う場合には原則として約2ヶ月前までに鉄道会社に申請が必要です。

なるべく敷地内での募金活動は避けてください。

*知らない方の家を回り、戸別訪問による募金活動は絶対にしないでください。

⑤ 当日の計画を立てます[11月頃までに]

オリジナルのポスターやチラシを作ったり、かけ声を決めたり、多くの人に立ち寄ってもらうための工夫を考えましょう。又、当日協力していただけるボランティアさんの募集も行います。

⑥ ハンド・イン・ハンド実施

⑦ 募金の送金 [12月末まで]

集まった募金を **12月31日まで**に、ハンド・イン・ハンドの専用振込用紙を使い、郵便局で送金手続きしてください。専用振込用紙がない場合は、郵便局の振込用紙でも送金できます。郵便振替口座番号：00190-3-51000、加入者名：日本ユニセフ協会を記入し、通信欄にハンド・イン・ハンドと明記してください。

⑧ 実施報告書の送付[12月～1月]

「活動の手引き」についている報告書を日本ユニセフ協会へお送りください。皆様からの様々なアイデア、成功したこと、失敗したこと、ご意見、感想、どんなことでも教えてください。今後の参考とさせていただきます。

コープえひめのご担当者に聞きました！

実際に、各生協ではどのように実施しているのか、コープえひめでユニセフの担当をされている海田さんにお話をお聞きしました。

いつ頃から準備を始めましたか？

10月下旬から始めました。

実施日は？

12月2,4,5,6,7,12,16,17日の8日間です。

どんなふうに実施しましたか？

机一台にポスターを貼り、募金箱を設置しました。併せてバザーキットとグッズの販売をしました。



募金の呼びかけは誰が行いましたか？

「ユニセフ友の会」グループメンバーと店舗委員が協力してくださいました。

呼びかけに協力してくれた人はどのように集めましたか？

メンバーはグループ会で。店舗委員会には委員長さん宛てにお手紙を書きました。

どこで実施しましたか？

12店舗中7店舗。うち初参加2店舗。
産直交流会1箇所。
本部（2～17まで連続して募金箱設置。）



どのような呼びかけが効果的でしたか？

子ども達に募金箱を持ってもらうと、イメージがわきやすいようで、募金も多かったです。赤ちゃん連れの店舗委員さんがいらして、この赤ちゃんもマスコットガールとして(!?)活躍。子どもがいると募金してくれやすいです。募金とあわせてバザーキット(クリスマスカード)も販売したので、にぎやかな感じで人目をひきやすかったと思います。また、募金してくださった方にはツリーヘリボンを結びつけていただきました。ツリーのてっぺんにはハンド・イン・ハンド募金のワッペン(かわいいと好評でした。)を飾りました。このツリーは順次各店舗に持ち回り、最後にはリボンでいっぱいになりました。子どもからお年寄りまで。みなさんが協力してくださいました。



各場所でいくら位の募金が集まりましたか？

1,730円から7,143円まで合計40,155円の募金が集まりました。

海田さん、インタビューにご協力ありがとうございました！ハンド・イン・ハンドを通じて多くの人がユニセフにふれ、知る機会をもていただければと思います。ご協力宜しくお願いします。

お問い合わせ：日本ユニセフ協会 協力事業部 ハンド・イン・ハンド担当まで

TEL: 03-5789-2012 FAX: 03-5789-2032

この国 どんな国 インドネシア・アチェの巻



—多彩な民族・多様の文化の国—

1万数千もの島々が、東西5100km、南北1900kmの広大な国土に存在する、世界最大の群島国家インドネシア。そこは約300以上とも、細かく分類すると3000以上とも言われる多くの民族が暮らしている、多民族国家でもあります。人口は約2億3000万人。民族はジャバ人・スバ人・バタ人など大多数がマレー系住民で、そのほか中国系やパプア系住民などが居住しています。宗教はイスラム教が大部分で、キリスト教、ヒンズー教、仏教等が信仰されており、公用語はインドネシア語、国内各地ではジャバ語やバリ語など、独自の言葉も多く、リゾート地では英語も使われています。

—スマトラ沖地震・津波の被害

直前のアチェ州—

2004年12月26日に発生した、スマトラ島沖地震・津波は、インド洋でつながる近隣地域に甚大な被害をもたらしました。中でも震源地に最も近かったインドネシアのアチェ州は、被害の規模が大きいことに加え、分離独立派とインドネシア治安当局の間の武力衝突が、30年近く継続している地域であったため、救援・復興活動にも困難が生じています

今回の地震・津波が起こる前の2003年5月からは、GAM（アチェ自由運動）とインドネシア政府の間の停戦合意が崩れ、インドネシア政府による

軍事戒厳令が敷かれていました。アチェとアチェ外部との情報や人のやりとりが遮断・制限されていた状態が続いていましたが、その年の12月には一部で国連機関のアチェ入りが認められ始め、アチェの人々の国際機関への期待は大きく高まっていました。そんな状況の中で、地震・津波の被害が起きたのです。

アチェ州は、インドネシアの中で、マク州と西パプア州に次いで3番目に貧困者が多い州で、人口の3割程度が貧困層です。州の北部は地震・津波の被害が最も大きかった地域ですが、そこに住んでいた人の7割が貧困層だということです。学校や保健所、医療サービス等に関わっている人たちの相当数が、行方不明になったり死亡して、長期的な視野で復興支援が必要な状況です。（地図の左端がアチェ州）



アチェは、今回の復興支援を「子どもにやさしい社会を再構築する」チャンスと捕らえ、津波の前からある慢性的な問題への取組みを確固たるものにし、津波の前よりも良い社会をつくりたいと考えて支援活動を行っています。

「子どもの笑顔は明日への活力」と現地の親たちは言っています。復興を支えるのは外部からの支援だけではなく、アチェの子どもたち自身でもあるのです。（谷杉佐奈美）



世界の子ども達は今

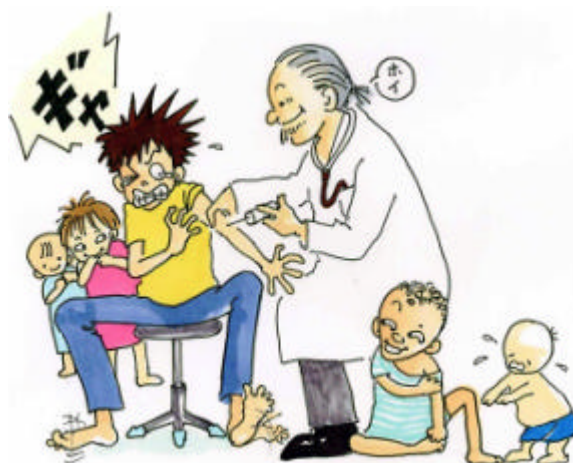
<インドネシア>

インドネシアにおけるユニセフの支援活動は、子どもの病気への対応や教育などを中心に行われています。私達の募金活動がこうした世界各地の活動を支え、多くの子ども達の命を救っています。(文) 松本真弓/(絵) 蛭沢素子



<学校って楽しいな！>

多くの子どもたちが学校に通い、楽しく学べるよう、先生の研修や学校運営改善のための支援をしています。



ユニセフでは、安全な水が飲めるように雨水をためるタンクを設置しました。また、子どもの健康のため予防接種を行っています。

ユニセフ活動を紹介する上記のイラストを広報誌等でご活用いただけます。イラストのファイルを電子メールでお送りしますので、組合員活動部までご連絡ください。

生協のユニセフ活動 Partnership 機関誌・チラシのいろいろ

お年玉募金などのユニセフ募金のお願いや報告、各地の生協ではどのように取り組んでいるのでしょうか？今回は全国の生協のチラシや機関紙をご紹介します。

エフコープ (ポスター)



チラシ（裏面が募金袋になっています）



大阪北生協 チラシ



2004年度ユニセフキャンペーン



裏面は、「世界の子どもたちとユニセフ」「大阪北生協とユニセフ」「ユニセフ募金の流れ」が紹介されています。

6 カラオケ設備

もっと知りたい
ユニセフ <http://www.unicef.or.jp/>
子どもでわかりやすい国連のホームページです。親子で、ユニセフの活動について調べてみましょう。

www.unicef.or.jp/
ページです。親子で、ユニセフの活動について調べてみましょう。

子どもの健康を親が知らずには置けず、やりやうの改善をする女性。上の子は学校に行っていますが、
保育園や幼稚園で、グループで遊ぶことが好き。



ホームページ <http://www.jccu.coop/>